

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

大阪大学

前期日程

科目

世界史

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

<総論>

出題形式や大問数、指定字数などが毎年変動することが大阪大学の特徴だが、今年は昨年と同様の大問数3問で、(Ⅰ)・(Ⅱ)が外国語学部と文学部の共通問題、(Ⅲ)が学部ごとに異なる問題という構成も昨年同様であった。出題形式は記号選択問題や語句記述問題も出題されたが、従来通り論述問題が多くを占め、総字数は外国語学部が昨年の850字程度が970字程度に、文学部は昨年の700字程度が945字程度とそれぞれ大幅に増加した。

<特記事項・トピックス>

昨年と同様に資料からの読み取りを歴史知識と結び付ける問題が文学部の(Ⅲ)で出題されるなど、共通テストでも多用される形式を論述問題として問う傾向が定着したように思われる。時代範囲では(Ⅰ)・(Ⅱ)で古代から中世が取り上げられ、とくに(Ⅰ)の問1は、食糧生産革命による技術変革を問うという阪大では前例のない先史時代からの出題であった。(Ⅲ)では外国語学部が戦後史を含む近現代史を出題したが、文学部は19世紀までの出題にとどまり、昨年に続き現代史からの出題はなかった。また地域では昨年がアジア史からの出題が多くを占めたのに対し、今年は欧米史が大半を占め、中国史にいたっては春秋戦国時代をあつかった(Ⅰ)の問2の1問にとどまった。

<合格への学習対策>

大阪大学の世界史は元来、古代から現代までの幅広い時代範囲を対象とし、文明相互の交流などグローバルな視点からの歴史理解を問うことに特徴がある。対策としては教科書や図説を通じた学習を基本に、これまでの過去問からその傾向を理解し、100～200字程度の論述問題に対応できる表現力を培ってほしい。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	分野・テーマ(表題)	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
(Ⅰ)		世界史上の技術変革について		
問1	論述(150字程度)	獲得経済から生産経済への変化が人類社会に与えた影響	「技術変革」を問うているので、狩猟・採集から農耕・牧畜への移行だけでなく、あわせて打製石器にかわる磨製石器や土器の製作にもふれる。	標準
問2	論述(150字程度)	春秋戦国時代における鉄器の使用が社会に与えた影響	論述問題としては頻出テーマだが、森林伐採などの「環境の変化」にも言及する点が特徴的。	標準
(Ⅱ)		人の移動が世界の文化や社会に与えた影響		
問1	論述(150字程度)	ノルマン人の活動が世界の諸地域に与えた影響	阪大ではほぼ同内容のテーマが1999年や2010年にも出題されており、過去問対策で正解は十分可能。テーマの「諸地域に与えた影響」に関しては解答を絞り込みにくい。9～12世紀という時代限定からノルマン人国家の形成を現地への影響と解釈して説明するべき。	やや易
問2	論述(150字程度)	12世紀ルネサンス	翻訳の流れと、スコラ学への影響などを説明する頻出テーマ。	標準
問3	論述(150字程度)	イスタンブルに亡命したユダヤ教徒の扱いと活動の特徴	イスラーム世界での非ムスリムの扱い(ズィンミー制度)は書きやすいが、ユダヤ教徒の活動の特徴は詳細(ただし帝国書院の『新詳世界史探究』には記載がある)。	やや難

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

外国語 学 部 (Ⅲ)		ゴヤ、マネ、ピカソの絵画を題材とした戦争や内乱に関する問題		
問 1	論述 (150 字程度)	ナポレオンの侵攻がヨーロッパ諸国に与えた影響	反仏感情が諸国の国民意識や諸民族のナショナリズムの高揚に影響した点は、論述問題では頻出テーマ。	標準
問 2	記号選択	19世紀のメキシコに関する正誤問題		やや易
問 3	論述 (150 字程度)	1950年代初めのアメリカを中心としたアジア太平洋地域の安全保障体制	ピカソの絵画は1951年に描かれたが、この年に成立した機構や条約は、太平洋安全保障条約 (ANZUS) と日米安全保障条約、米比相互防衛条約に留まるが、朝鮮戦争 (1950～53) と同時期ととらえると、1954年の東南アジア条約機構 (SEATO) や米華相互防衛条約まで説明可能と思われる。	やや難
文学部 (Ⅲ)		二つの資料から見たヨーロッパの植民者と先住民の関係		
問 1	語句記述	エンコミエンダ制を問う語句記述問題		易
問 2	論述 (75字 程度)	エンコミエンダ制の実態について	制度の内容とインディオに対する「保護」の実態を説明する論述の基本問題。	やや易
問 3	記号選択		絵画資料を観察し、選択肢の説明との合致を判断する読み取り問題。	標準
問 4	論述 (200 字程度)	植民地支配におけるヨーロッパ人の先住民支配の特徴	資料1のエンコミエンダ制の内容や、資料2の絵画資料の読み取りから当初は先住民との良好な関係を装いつつ、実際はキリスト教や法などを通じてヨーロッパ優位の文明化が進められたことを説明する。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。